

## 2 個別事業評価調書

団体名：伊根町

事業名		いきいき健康チャレンジ事業			
事業の概要		本町は過疎化が進行し、サークル活動等の大勢でスポーツに親しむ機会が少なく、2.5人に1人が高齢者である一方で年少人口は10人に1人と世代の偏りがあり、集落は点在しているため、スポーツ等を通じた交流の機会が少ない現状にある。町民全てを対象にスポーツにチャレンジする機会を設け、各種競技、スポーツ教室、レクレーションスポーツにより体力づくり、健康づくりを行って健康増進を図り、また、町民がスポーツを通じて世代を越えた交流を行い地域の活性化を図る。			
		事業期間	平成18年度		
		総事業費	183	本年度事業費	183
事業評価	事業の必要性	町民一人一人が健康で、生き生きとした生活を送るためには健康でなければならない。そのためにも町民みんなが集まり、みんなでスポーツをすることにより、みんなで健康になるという意識を作るために、年に1回町民全てを対象にスポーツに親しみ、チャレンジする日を設定した。			
	事業の有効性	自分自身の健康を維持する上で、みんなとスポーツをして健康づくりに努める意識づくりができる。			
	事業の効率性	伊根町人口2,838人の内、約2割弱の470人が参加しスポーツに対する意識が高くなった。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 総合開会式後、イベントとして京都ギネスに挑戦種目の長縄とびを行い健康づくりの啓発に努めた。各地区の代表として選考され郷土のために数多く飛んだ。各地区民運動会でも京都ギネスに挑戦してほしい。			
		3 リーディングモデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。